

# サイト・グラスおよびサイト・チャッキ 取扱説明書

SG（シングル・ウィンドウ、ダブル・ウィンドウ）、SG13、SG253、SC



SG

シングル・ウィンドウ



SG

ダブル・ウィンドウ



SG13



SG253



SC

1. 安全のための注意
2. 製品仕様
3. 設置
4. 始動
5. 運転
6. 保守

# 1. 安全のための注意

取扱説明書に従って、有資格者が、設置・始動・保守点検を正しく行なうことにより、これらの製品が安全に稼働できます。配管および工場建設の工事説明書、安全のための注意に従って、適切な工具を使用し、安全設備を整えて行なわなければなりません。

## 警告

ガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。（SG13型を除く）怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

ドレンに含まれる腐食物質（特に苛性アルカリおよびフッ化水素酸が発生する場合）が、サイト・チューブ／ウィンドウの内壁に影響をおよぼすことがあります。サイト・グラスおよびサイト・チャッキのサイト・チューブ／ウィンドウの厚さを、定期的に点検することを、お奨めします。

薄くなっている、あるいは腐食の兆候がある場合、直ちにサイト・チューブ／ウィンドウを交換してください。

サイト・グラス／サイト・チャッキを目視する際は、必ず防護眼鏡を使用してください。

万が一、サイト・チューブ／ウィンドウが破損した場合に、人体が損傷を受けるのを防ぐための有効な手段を講じてください。

## 1.1 使用上のお願い

取扱説明書・銘板・技術資料を参照して製品が使用目的に適しているか確認してください。この製品は、European Pressure Equipment Directiveの規則97/23/ECに適合し、ご要望があれば、CEマークを貼り付けできます。‘SEP’と判定された商品にはCEマークが免除されています。製品はEuropean Pressure Equipment Directiveの以下のカテゴリーに属します。

製品	グループ1 気体	グループ2 気体	グループ1 液体	グループ2 液体
SG（シングル・ウィンドウ） 10A - 25A	-	SEP	-	SEP
SG（ダブル・ウィンドウ） 15A - 50A	-	SEP	-	SEP
SG253	15A - 40A	SEP	-	SEP
	50A	1	-	SEP
SG13	15A - 25A	SEP	-	SEP
SC	15A - 25A	SEP	-	SEP

- I. この製品は上記のEuropean Pressure Equipment Directiveが定めるグループ2に属する蒸気、空気、ドレン/水に使用できるように設計されています。他の流体に使用する場合は、製品に適合するかスパイラックス・サーコにお問い合わせください。
- II. 材質の適合性・圧力および温度、それらの最大・最小条件を確認してください。製品の不具合により危険な過剰圧力が生じた場合、設計定格を超えた稼働を防ぐ安全装置をシステムに設置してあるか確認してください。
- III. 流体の流れの向きに合わせて、正しく設置してください。
- IV. 設置するシステムの配管応力に耐えるように設計されていません。配管設計において配管応力が最小になるようにしてください。
- V. 蒸気あるいは他の高温に装置に設置する前に、すべてのコネクシオンの保護カバー、銘板の保護フィルムを外してください。

## 1.2 作業通路

安全な作業通路を確保してください。製品の設置前に、必要ならば作業用の足場を設置してください。または荷揚げツールを準備してください。

## 1.3 照明

十分な照明を確保してください。精密で複雑な作業を行なう場合特に配慮してください。

## 1.4 配管内の危険な流体および気体

配管内にどのようなものが残留しているのかあるいは流れていたのか、十分に確認してください。特に燃えやすいもの・身体に危険を及ぼすもの・温度の極端に高いものまたは低いものです。

## 1.5 危険な環境

爆発の危険性のある場所・酸欠の恐れのある場所（例：タンク、ピット）・危険な気体・温度の極端に高いあるいは低い場所・表面が高温になっている装置・発火の恐れのある場所（例：溶接作業中）・騒音のひどい場所・機械が運転中の場所です。十分に注意してください。

## 1.6 配管システム

決められた作業手順に従って行なってください。作業手順（例：遮断弁を閉める、電気絶縁をする等）は、システムあるいは危険な場所で作業するすべての人に適用してください。ベントあるいは保護機器を遮断すること、制御機器あるいは警報機を無効にすることは非常に危険です。遮断弁の開閉はゆっくりと行なってシステムへの衝撃を防いでください。

## 1.7 圧力システム

圧力を遮断して、安全に大気圧まで排気されていることを確認してください。二重の遮断・排気弁の設置・バルブ閉止の施錠や表示を行なうよう考慮してください。圧力計がゼロを示してもシステムの圧力が完全に抜けたと思わないでください。

## 1.8 温度

火傷の危険を避けるため温度が常温になるまで作業を休止してください。

PTFE（SG13型のサイト・チューブ・ガスケットに含まれる）

PTFEを含む部品が260℃以上の温度にさらされると、有毒なガスが発生します。吸い込むと、一時的に不快な症状を起こします。PTFEに汚染された煙草の煙を吸い込まないようにするため、PTFEを貯蔵および取扱っているすべての場所を禁煙にしてください。

## 1.9 工具および部品

作業を開始する前に工具および部品が揃っていることを確認してください。必ずスパイラックス・サーコの純正交換部品を使用してください。

## 1.10 防護服

化学薬品・高温／低温・放射線・騒音・落下物等の危険がある場所では防護服を着用してください。目および顔面への危険を避けるためヘルメット・防護眼鏡を使用してください。

## 1.11 作業の許可

有資格者あるいは有資格者の監督下ですべての作業は行なってください。設置および運転を行なう者は取扱説明書に従って製品を正しく使用できるようにしてください。

正式な許可が必要な地域ではそれに従ってください。作業責任者は作業全体を把握すること、必要な場所では安全管理者を配置することをお奨めします。必要ならば‘警告事項’を掲示ください。

---

## 1.12 操作

大きく重たい製品を手動で扱おうと身体に障害が生ずることがあります。重いものの持ち上げ・押し付け・引き揚げ・運搬・支持で特に背中を痛めることがあります。危険を避けるため作業状況に合わせて適切な機器を使用することをお奨めします。

## 1.13 残留物の危険性

通常の使用で製品の表面は非常に熱くなります。最高の使用状態では製品の表面温度は100°Cに達します。ドレンは自動的に排出されません。製品を分解あるいは取り外す時は十分に注意してください。（保守の説明を参照してください。）

## 1.14 凍結

氷点下になる地域で自動的にドレンを排出しない製品を使用される時は、凍結を防ぐ対策を行なってください。

## 1.15 廃棄

取扱説明書に特別の記述がない場合リサイクルできます。廃棄の際は適切な処置を行なうことにより環境汚染を生じることはありません。

PTFE（SG13型- サイト・チューブ・ガスケットに含まれる）：

- 廃棄部品は許可された方法により廃棄して下さい。焼却はできません。
- PTFEは別の容器に入れて保管して下さい。他のゴミと混ぜてはいけません。埋立て業者に引き渡して下さい。

## 1.16 製品の返却

ECの健康・安全・環境に関する法律により製品の返却時、健康・安全・環境に危害を与える可能性のある残留物あるいは機器に損傷がある場合は危険や予防策を予め報告しなければなりません。危険物質および潜在的な危険物に関する報告を含めて文書にて報告してください。

## 2. 製品仕様

### 2.1 SG型サイト・グラス（シングル・ウィンドウ&ダブル・ウィンドウ）

#### 概要

SG型シングルおよびダブル・ウィンドウのサイト・グラスは、ねじ込み接続で、本体材質は口径により黄銅鋳物か青銅鋳物になります。

注記：詳細は、技術資料TI-P022-05をご覧ください。



図1. SG型シングル・ウィンドウ

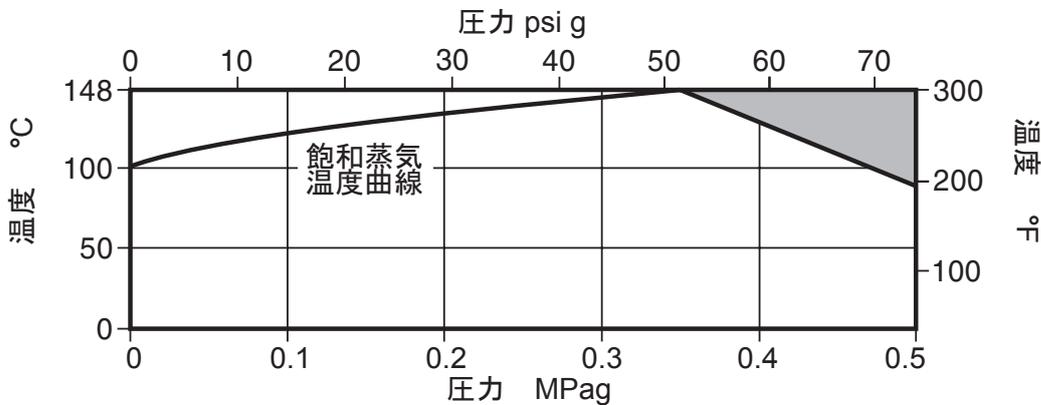


図2. SG型ダブル・ウィンドウ

#### 口径及び配管接続

SG型シングル・ウィンドウ	10A, 15A, 20A および 25A	ねじ込み	RpおよびNPT
SG型ダブル・ウィンドウ	15A, 20A, 25A, 40A および 50A	ねじ込み	RpおよびNPT

#### 圧力/温度限界



この製品はこの領域では使用できません。

本体設計定格	PN5	
PMA 最高許容圧力	(90 °Cの時) 0.5 MPag	(194°Fの時72.5 psi g)
TMA 最高許容温度	(0.35 MPag) 148 °C	(50.75 psi gの時298.4°F)
最低許容温度	-29 °C (-20.2°F)	
PMO 最高使用圧力 (飽和蒸気)	0.35 MPag	(50.75 psi g)
TMO 最高使用温度	(0.35 MPagの時) 148 °C	(50.75 psi gの時298.4°F)
最低使用温度	0 °C (32°F)	
注記:これより低い場合は、スパイラックスにお問い合わせください。		
最高テスト圧力 (水圧)	0.7 MPag	(101.5 psi g)
PTMX 最高テスト圧力 (蒸気仕様)	0.35 MPag	(50.75 psi g)

## 2.2 SG13型サイト・グラス

### 概要

SG13型は保守可能な黄銅製サイト・グラスで、丸窓付き、ねじ込み接続です。このサイト・グラスは、加圧回収ラインにおけるトラップの二次側の排出状態をモニターします。スチーム・トラップに直接ねじ込みでき、ニップルは不要で、ジョイントも少なくなるため、洩れの可能性を最小限に抑えることができます。また、プロセス・ラインに組込み、流れを目視することも可能です。

**注記:** 詳細は、技術資料TI-P130-11をご覧ください。

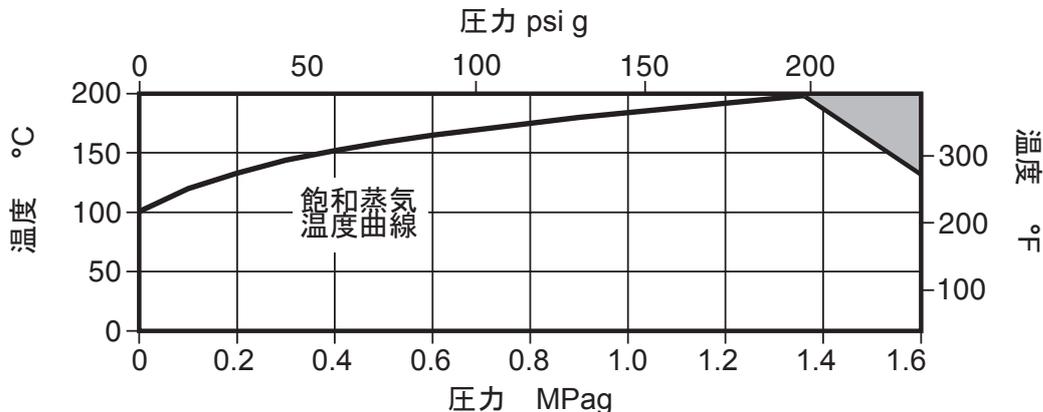


図3. SG13型

### 口径及び配管接続

15A, 20A および 25A ねじ込み Rp 雄ねじテーパ/雌ねじ (BS21 parallel)  
 15A, 20A および 25A ねじ込み NPT 雄ねじ/雌ねじ (ASME(ANSI)B 1.20.1)

### 圧力/温度限界



この製品はこの領域では使用できません。

本体設計定格	PN16	
PMA 最高許容圧力	(130 °Cの時) 1.6 MPag	(266°Fの時) 232 psi g
TMA 最高許容温度	(1.35 MPag) 200 °C	(195.8 psi gの時) 392°F
最低許容温度	-20 °C (-4°F)	
PMO 最高使用圧力 (飽和蒸気)	1.3 MPag	(188.5 psi g)
TMO 最高使用温度	(1.35 MPagの時) 200 °C	(195.8 psi gの時) 392°F
最低使用温度	0 °C (32°F)	
注記: これより低い場合は、スパイラックスにお問い合わせください。		
最高テスト圧力 (水圧)	2.4 MPag	(348 psi g)
PTMX 最高テスト圧力 (蒸気仕様)	1.3 MPag	(188.5 psi g)

## 2.3 SG253型サイト・グラス

### 概要

SG253型はダブル・ウィンドウでダクタイル鋳鉄製のサイト・グラスで、接続はフランジ接続です。

注記: 詳細は、技術資料TI-P130-01をご覧ください。



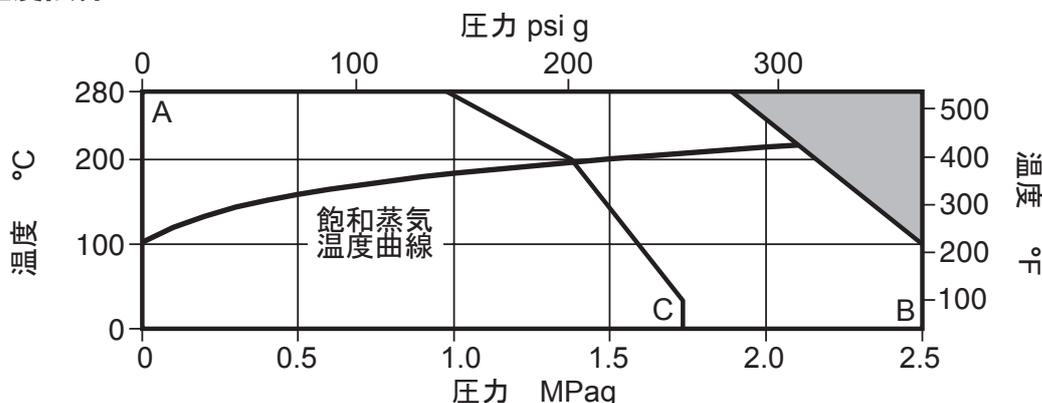
図4. SG253型

### 口径及び配管接続

15A, 20A, 25A, 32A, 40A および 50A

フランジ EN 1092 PN25, BS 1560 ASME(ANSI) B 1.20.1

### 圧力/温度限界



この製品はこの領域では使用できません。

A-B EN 1092 PN25 フランジ

A-C BS 1560 ASME (ANSI) Class 150 フランジ

本体設計定格		PN25 および ASME (ANSI) 150	
PMA 最高許容圧力	PN25	(100 °Cの時) 2.5 MPag	(212°Fの時) 362.5 psi g
	ASME 150	(35 °Cの時) 1.72 MPag	(95°Fの時) 249.5 psi g
TMA 最高許容温度	PN25	(1.8 MPagの時) 280 °C	(261 psi gの時) 536°F
	ASME 150	(1.0 MPagの時) 280 °C	(145 psi gの時) 536°F
最低許容温度		-10 °C	(14°F)
PMO 最高使用圧力 (飽和蒸気)	PN25	2.1 MPag	(304.5 psi g)
	ASME 150	1.38 MPag	(200.1 psi g)
TMO 最高使用温度		(1.8 MPagの時) 280 °C	(261 psi gの時) 536°F
最低使用温度		0 °C	(32°F)
注記: これより低い場合はスパイラックスにお問い合わせください。			
最高テスト圧力 (水圧)	PN25	3.8 MPag	(551 psi g)
	ASME 150	3.0 MPag	(435 psi g)
PTMX 最高テスト圧力 (蒸気仕様)	PN25	2.1 MPag	(304.5 psi g)
	ASME 150	1.38 MPag	(200.1 psi g)

## 2.4 SC型サイト・チャッキ

### 概要

SC型サイト・チャッキは、サイト・グラスと逆止弁が一体になった製品です。スチーム・トラップからのドレン排出を観察するために使用します。ステンレス鋼球の動きでドレン排出が観察できます。ドレンがトラップから排出された後、別に逆止弁が必要ないので、装置が簡素化できます。サイト・チャッキは蒸気障害解消装置 (SLR) 付きのスチーム・トラップの始動に役立ちます。

構成材質が許す範囲で、他の流体用配管にも使用できます。

**注記:** 詳細は、技術資料TI-P022-01をご覧ください。

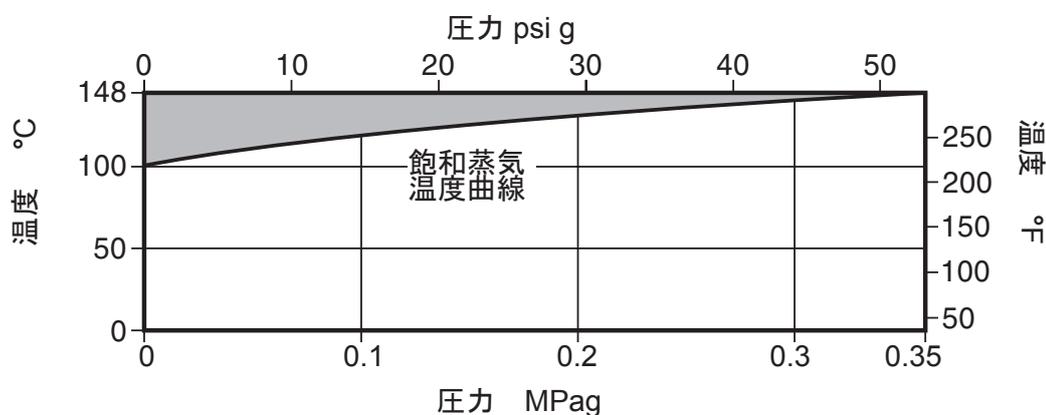


図5. SC型

### 口径及び配管接続

15A, 20A および 25A ねじ込み Rp または NPT

### 圧力/温度限界



この製品はこの領域では使用できません。

本体設計定格	PN3.6	
PMA 最高許容圧力	(148 °Cの時) 0.35 MPag	(295.6°Fの時) 50.75 psi g
TMA 最高許容温度	(0.35 MPagの時) 148 °C	(50.25 psi gの時) 294.8°F
最低許容温度	-10 °C (14°F)	
PMO 最高使用圧力 飽和蒸気	0.35 MPag	(50.75 psi g)
TMO 最高使用温度	(0.35 MPagの時) 148 °C	(50.75 psi gの時) 295.6°F
最低使用温度	0 °C (32°F)	
注記: これより低い場合は、スパイラックスにお問い合わせください。		
最高テスト圧力 (水圧)	0.7 MPag	(101.5 psi g)
PTMX 最高テスト圧力 (蒸気仕様)	0.35 MPag	(50.75 psi g)

---

## 3. 設置

---

注記:設置を始める前に1章の‘安全のための注意’をご覧ください。

### 警告

ドレンに含まれる腐食物質(特に苛性アルカリやフッ化水素酸が発生する場所)が、サイト・チューブ/ウィンドウの内壁に影響を及ぼすことがあります。サイト・グラスおよびサイト・チャッキのサイト・チューブ/ウィンドウの厚さを定期的に点検することをお奨めいたします。薄くなっているあるいは腐食の兆候がある場合は、直ちにサイト・チューブ/ウィンドウを交換してください。

サイト・グラス/サイト・チャッキを目視する際は、必ず防護眼鏡を使用してください。  
サイト・チューブ/ウィンドウが破損した場合に、人体が損傷を受けるのを防ぐための有効な手段を講じてください。

サイト・グラスおよびサイト・チャッキは、スチーム・トラップの出口側に、水平あるいは垂直配管に取り付けることができます。ドレンが噴出するタイプのトラップ(例:ディスク式スチーム・トラップ)の場合、サイト・グラスおよびサイト・チャッキは、トラップから少なくとも1 m 離して取り付けてください。ガラスに熱的なショックあるいは圧力を与えないようにしてください。ガラスが破損するという不測の事態に備えて、人体が損傷を受けるのを防ぐための有効な手段を講じてください。  
保守が確実にこなえるよう、通路を確保してください。

---

## 4. 始動

---

設置あるいは保守の後、システムが完全に機能していることを確認します。警報機あるいは保護機器のテストを実施します。

---

## 5. 運転

---

### 5.1 サイト・グラス

流体が通過する時、一次側接続部に乱流が起こり、サイト・グラスは乱流を同心円状になめらかに小さくします。サイト・グラス内の乱流により流体を検知します。

バルブ、ストレーナー、スチーム・トラップおよび他の配管機器が遮断されているかを検知するのに、サイト・グラスは使うことができます。観察目的でも使うことができます。例: プロセスの異なる段階で流体の色を比べる、迅速に効果的に調整を行なう。

SG13型の円筒形目視部分は、スチーム・トラップに直接ねじ込み、スチーム・トラップをモジュール監視できます。

### 5.2 サイト・チャッキ

サイト・チャッキは、サイト・グラスと逆止弁をひとつにしたものです。二次側接続部の円筒形ウィンドウの中を流体が流れると、フロー・チューブの上部のボールが上がりシートから外れます。ボールの動きで、流れを簡単に見ることができ、また逆の流れを遮断します。

## 6. 保守

### 6.1 SG型サイト・グラス（シングル・ウィンドウおよびダブル・ウィンドウ）

#### 注記：

保守を始める前に、章1の‘安全のための注意’をご覧ください。

#### 警告

ドレンに含まれる腐食物質（特に苛性アルカリやフッ化水素酸が発生する場所）が、ウィンドウの内壁に影響を及ぼすことがあります。サイト・グラスのウィンドウの厚さを定期的に点検することをお奨めいたします。薄くなっているあるいは腐食の兆候がある場合は、直ちにウィンドウを交換してください。

サイト・グラスを目視する際は、必ず防護眼鏡を使用してください。

ウィンドウが破損した場合に、人体が損傷を受けるのを防ぐための有効な手段を講じてください。

適切な有資格者がすべての作業を行ってください。作業を始める前に、適切な道具がそろっていること、‘安全のための注意’を遵守していることを確認します。スパイラックス・サーコの純正部品を使用してください。

#### ウィンドウおよびガスケットの交換方法

- ・ サイト・グラスを遮断し、圧力と温度が周辺環境まで下がるのを待ちます。
- ・ 遮断後、ベッセル(2)および古いガスケット(4および5)とウィンドウ(3)を取り外します。
- ・ 凹み部分に注意して清掃します。
- ・ 新しいガスケットおよびウィンドウを取り付けます。2枚のガスケット(4)でウィンドウ(3)を上下から挟むようにします。
- ・ ベッセルをもとの位置に戻し、推奨締め付けトルクで締め付けます。（表1参照）
- ・ 保守完了後、遮断弁をゆっくり開き、圧力と温度が通常設定値まで上がるのを待ちます。
- ・ 漏れチェックをします。

### 6.2 予備部品（シングル・ウィンドウおよびダブル・ウィンドウ）

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供しておりません。

#### 予備部品

ウィンドウおよびガスケットのセット	3, 4, 5
ガスケットのセット	4, 5

#### 予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、型式と口径を指定してください。

例：25A、SG型サイト・グラス用ウィンドウとガスケットのセット・・・1個

注記：指定がない場合は、ダブル・ウィンドウをご提供致します。

図6.  
シングル・ウィンドウ

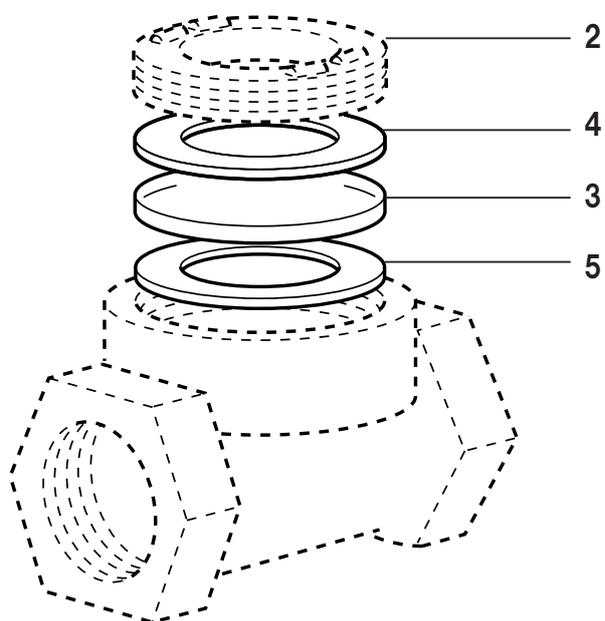


図7.  
ダブル・ウィンドウ

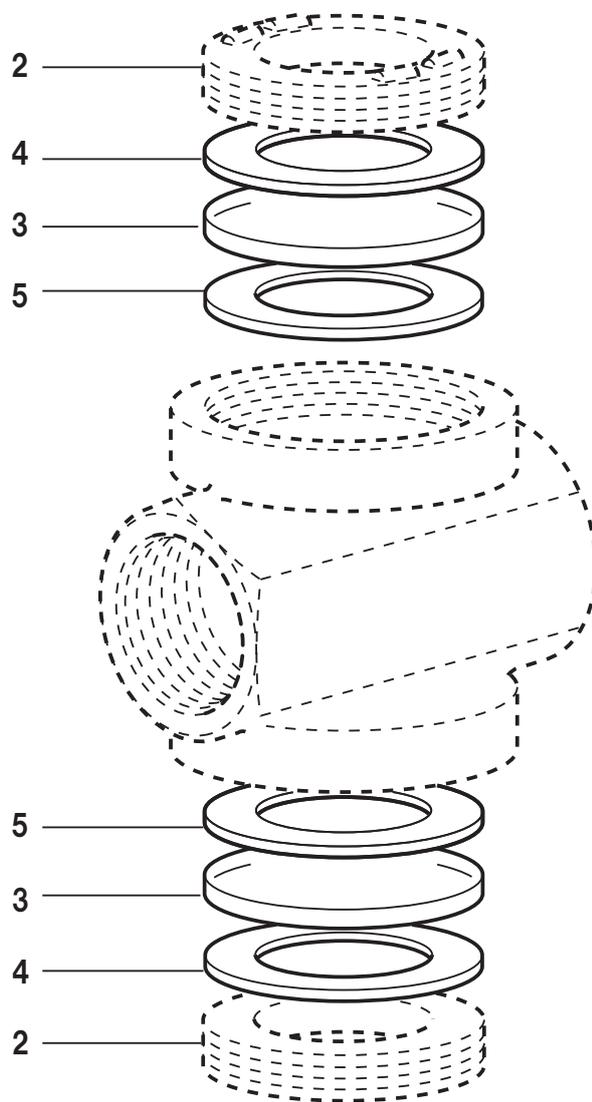
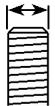


表1 推奨締め付けトルク

No.	部品	 又は 	又は mm	N m	(lbf ft)
2	ベッセル			60 - 65	(43 - 47)

---

## 6.3 SG253型サイト・グラス

### 注記：

保守を始める前に、章1の‘安全のための注意’をご覧ください。

### 警告

ドレンに含まれる腐食物質（特に苛性アルカリやフッ化水素酸が発生する場所）が、ウィンドウの内壁に影響を及ぼすことがあります。サイト・グラスのウィンドウの厚さを定期的に点検することをお奨めいたします。薄くなっているあるいは腐食の兆候がある場合は、直ちにウィンドウを交換してください。

サイト・グラスを目視する際は、必ず防護眼鏡を使用してください。

ウィンドウが破損した場合に、人体が損傷を受けるのを防ぐための有効な手段を講じてください。

適切な有資格者がすべての作業を行ってください。作業を始める前に、適切な道具がそろっていること、‘安全のための注意’を遵守していることを確認します。スパイラックス・サーコの純正部品を使用してください。

### ウィンドウおよびガスケットの交換方法

- ・ サイト・グラスを遮断し、圧力と温度が周辺環境まで下がるのを待ちます。
- ・ 遮断後、カバー・ボルト(5)を緩め、古いガスケット(4)とウィンドウ(3)を取り外します。
- ・ 凹み部分に注意して清掃します。
- ・ 新しいガスケットおよびウィンドウを取り付けます。2枚のガスケット(4)でウィンドウ(3)を上下から挟むようにします。
- ・ カバー(2)とカバー・ボルト(5)をもとの位置に戻し、推奨締め付けトルクで締め付けます。  
(表2参照)
- ・ 保守完了後、遮断弁をゆっくり開き、圧力と温度が通常設定値まで上がるのを待ちます。
- ・ 漏れチェックをします。

## 6.4 予備部品 (SG253型)

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供しておりません。

### 予備部品

ウィンドウおよびガスケットのセット	3, 4
ガスケットのセット	4

### 予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、型式と口径を指定してください。

例：15A、SG253型サイト・グラス用ウィンドウとガスケットのセット・・・1個

図8. SG253型

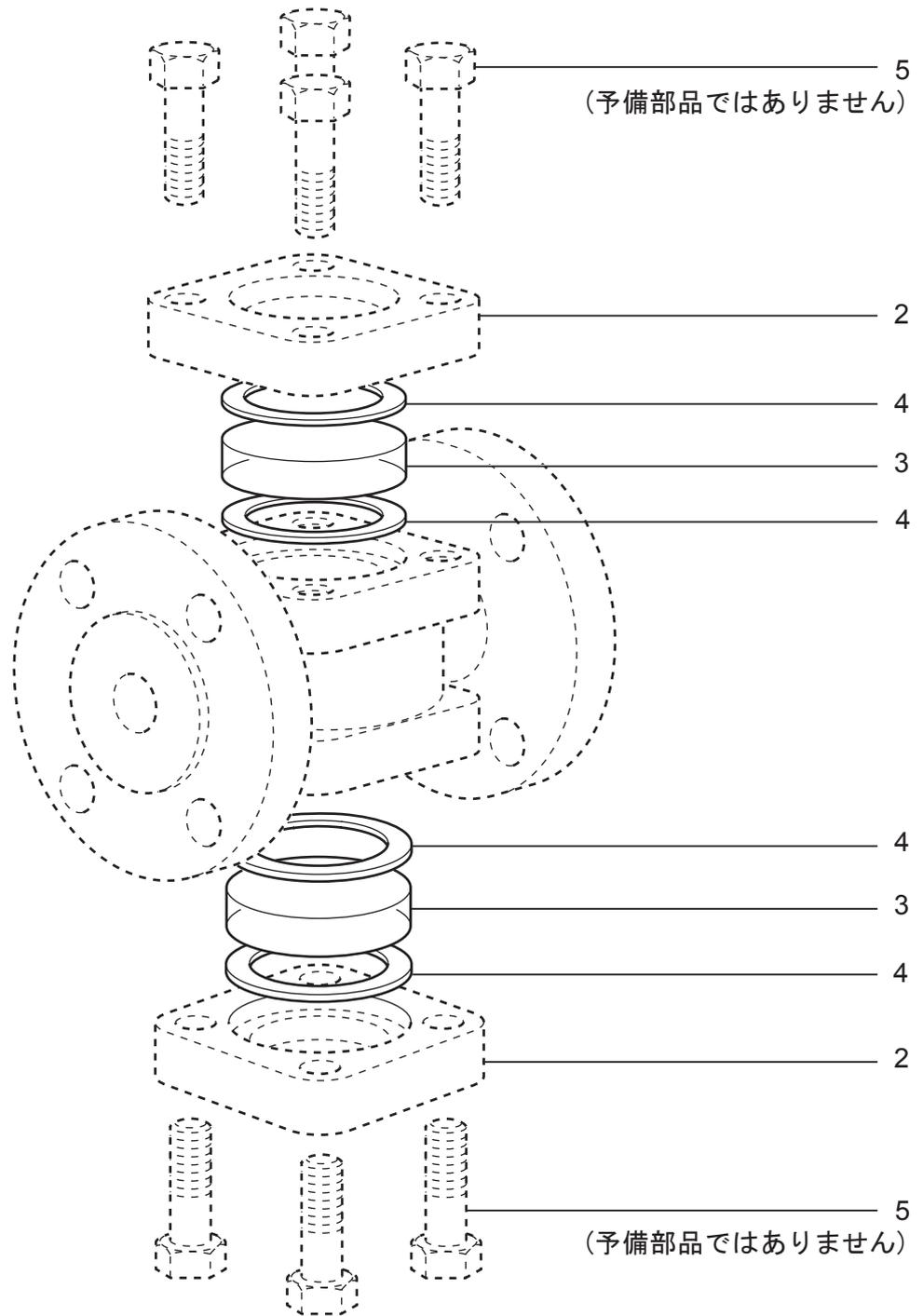


表2 推奨締め付けトルク

No.	部品	又は mm	N m	(lbf ft)
	15A - 20A	17 A/F M10 x 30	12	(8.6)
5	25A - 32A	08-2010以前: 08-2010以降:	17 A/F M10 x 35	28 (20.6)
			16 A/F M10 x 40	
	40A - 50A	19 A/F M12 x 40	38	(28.0)

---

## 6.5 SG13型サイト・グラス

### 注記：

保守を始める前に、章1の‘安全のための注意’をご覧ください。

### 警告

ドレンに含まれる腐食物質（特に苛性アルカリやフッ化水素酸が発生する場所）が、サイト・チューブの内壁に影響を及ぼすことがあります。サイト・グラスのサイト・チューブの厚さを定期的に点検することをお奨めいたします。

薄くなっているあるいは腐食の兆候がある場合は、直ちにサイト・チューブを交換してください。

サイト・グラスを目視する際は、必ず防護眼鏡を使用してください。

サイト・チューブが破損した場合に、人体が損傷を受けるのを防ぐための有効な手段を講じてください。

適切な有資格者がすべての作業を行ってください。作業を始める前に、適切な道具がそろっていること、‘安全のための注意’を遵守していることを確認します。スパイラックス・サーコの純正部品を使用してください。

### サイト・チューブおよびガスケットの交換方法

- ・ サイト・グラスを遮断し、圧力と温度が周辺環境まで下がるのを待ちます。
- ・ 遮断後、SG13型サイト・グラスを配管から取り外します。
- ・ 本体からエンド・コネクション(2)を緩め、サイト・チューブ(4)を取り外します。
- ・ 古いガスケット(3)を取り外し、シート面に傷がつかないように気を付けながら、注意して凹み部分を清掃します。
- ・ 新しいガスケット(3)およびサイト・チューブ(4)を取り付けます。（章6.6、予備部品参照）
- ・ サイト・チューブ(4)を本体内に平行に差し込みます。エンド・コネクション(2)を推奨締め付けトルクで締め付けます。（表3参照）注記：本体内のサイト・チューブ(4)の芯がずれていると、ガラスの縁が破損する可能性があります。
- ・ サイト・グラスを元の配管に取り付けます。
- ・ 保守完了後、遮断弁をゆっくり開き、圧力と温度が通常設定値まで上がるのを待ちます。
- ・ 漏れチェックをします。

## 6.6 予備部品（SG13型）

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供しておりません。

### 予備部品

---

サイト・ガラス・アセンブリー

3(2個入), 4

---

### 予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、型式と口径を指定してください。

例：15A、SG13型サイト・グラス用サイト・ガラス・アセンブリー・・・1個

図9  
SG13型

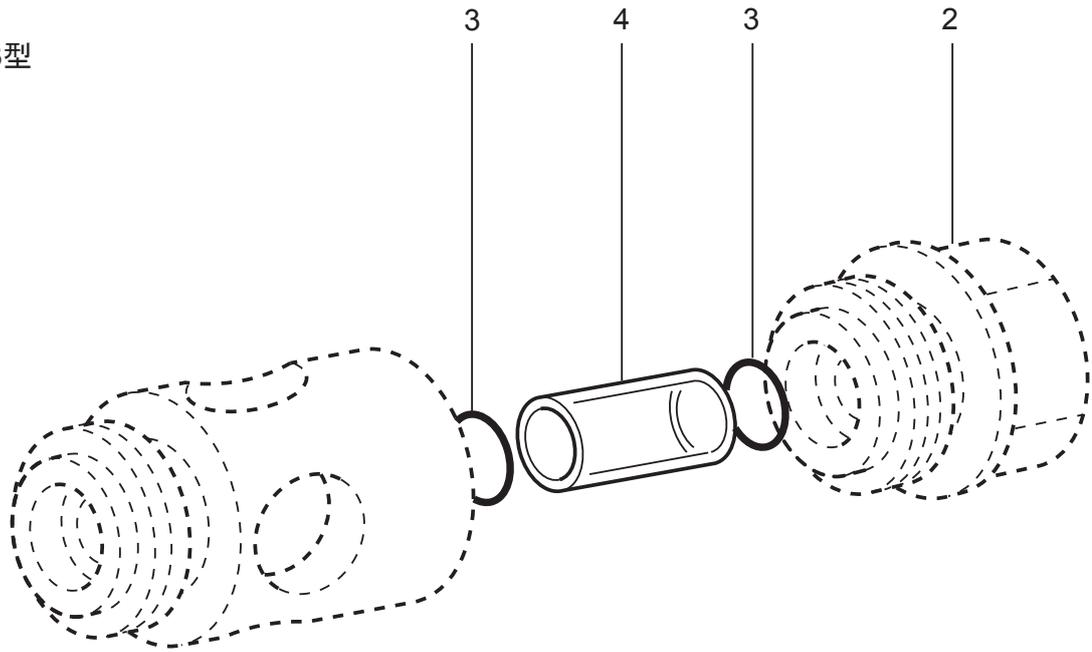
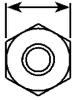


表3 推奨締め付けトルク

No.	部品	 又は 	N m	(lbf ft)
2	15A	32 A/F	35 - 40	(25 - 29)
	20A	36 A/F	35 - 40	(25 - 29)
	25A	46 A/F	35 - 40	(25 - 29)

---

## 6.7 SC型サイト・チャッキ

### 注記：

保守を始める前に、章1の‘安全のための注意’をご覧ください。

### 警告

ドレンに含まれる腐食物質（特に苛性アルカリやフッ化水素酸が発生する場所）が、サイト・チューブの内壁に影響を及ぼすことがあります。サイト・チャッキのサイト・チューブの厚さを定期的に点検することをお奨めいたします。薄くなっているあるいは腐食の兆候がある場合は、直ちにサイト・チューブを交換してください。

サイト・チャッキを目視する際は、必ず防護眼鏡を使用してください。

サイト・チューブが破損した場合に、人体が損傷を受けるのを防ぐための有効な手段を講じてください。

適切な有資格者がすべての作業を行ってください。作業を始める前に、適切な道具がそろっていること、‘安全のための注意’を遵守していることを確認します。スパイラックス・サーコの純正部品を使用してください。

### サイト・チューブの交換方法

- ・ サイト・チャッキを遮断し、圧力と温度が周辺環境まで下がるのを待ちます。
- ・ 遮断後、ボルトとワッシャー（7および8）を取り外します。
- ・ カバー(6)を取り外します。
- ・ 古いガスケット(2)とサイト・チューブ(3)を取り外し、注意して凹み部分を清掃します。
- ・ サイト・チューブ(3)に新しいガスケット(2)を取り付け、再度組み付けます。ボルトを推奨締め付けトルクで均等に締め付けます。その際、サイト・チューブの端がガスケットの中央に必ずくるようにしてください。（表4参照）
- ・ ボルトはきつめに手で締めるだけにとどめて、なじませてから必要な推奨締め付けトルクで本締めすることをお勧めします。
- ・ 保守完了後、遮断弁をゆっくり開き、圧力と温度が通常設定値まで上がるのを待ちます。
- ・ 漏れチェックをします。

### ディスチャージ・チューブの交換方法

- ・ カバー(6)とサイト・チューブ(3)を『サイト・チューブの交換方法』と同じ方法で取り外し、逆止弁(5)を持ち上げて外します。
- ・ ノッチを使用して、慎重に古いディスチャージ・チューブ(4)を取り外し、新しいものを取り付けます。
- ・ ガスケット(2)を新しくし、新しい逆止弁(5)を取り付け、再度組み立てます。
- ・ 古いガスケット(2)とサイト・チューブ(3)を取り外し、注意して凹み部分を清掃します。
- ・ サイト・チューブ(3)に新しいガスケット(2)を取り付け、再度組み付けます。ボルトを推奨締め付けトルクで均等に締め付けます。その際、サイト・チューブの端がガスケットの中央に必ずくるようにしてください。（表4参照）
- ・ 保守完了後、遮断弁をゆっくり開き、圧力と温度が通常設定値まで上がるのを待ちます。
- ・ 漏れチェックをします。

## 6.8 予備部品 (SC型)

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供していません。

### 予備部品

サイト・チューブ・アセンブリー (ガスケット材質:補強黒鉛ラミネート)	2(2個入), 3
ディスチャージ・チューブ・アセンブリー	4, 5
ボルトとワッシャーのセット (4個入*)	7, 8
ガスケット・セット (ガスケット材質:補強黒鉛ラミネート)	2(6個入)
ガスケット・セット (ガスケット材質:EPDM)**	2(6個入)

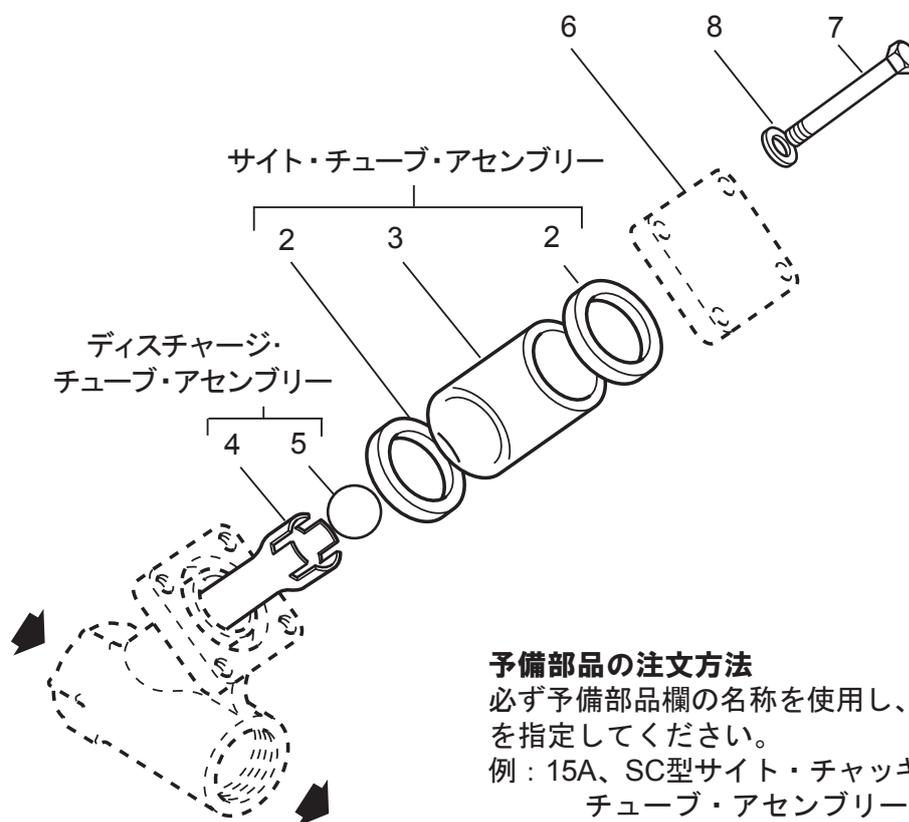
15Aと20Aは互換性がありますが、25Aは異なります。

### 注記:

- \* 初期のモデルでは、スタッド、ナットおよびワッシャーを使用していたため、ボルト、ワッシャー、スタッド、ナットの4つが含まれています。
- \*\* 初期モデルはEPDM製のガスケットを使用していました。(補強黒鉛ラミネート製ガスケットより厚みがあります。) EPDM製をご希望の際は、必ずご指定ください。

初期モデルは1995年前半までに製造された製品を指します。

図10  
SC型



### 予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、型式と口径を指定してください。

例: 15A、SC型サイト・チャッキ用サイト・チューブ・アセンブリー・・・1個

表4 推奨締め付けトルク

No.	部品	又は		N m	(lbf ft)
					
7		10 A/F	M6 x 65	1.8 - 2.2	(1.3 - 1.6)
4	15A、20A		$\frac{9}{16}$ " x 26 BSW	5 - 6	(3.6 - 4.3)
	25A		$\frac{7}{8}$ " x 20 UNF	5 - 6	(3.6 - 4.3)

お問い合わせは下記営業所もしくは取扱い代理店までお願いいたします。

## スパイラックス・サーコリミテッド

### イーストジャパン・ノースジャパン

■TEL

0800-111-234-2 (フリーダイヤル)

■FAX

(043)274-4818

■ADDRESS

〒261-0025

千葉市美浜区浜田2-37

### ウエストジャパン

■TEL

0800-111-234-3 (フリーダイヤル)

■FAX

(06)6681-8925

■ADDRESS

〒559-0011

大阪市住之江区北加賀屋2-11-8  
北加賀屋千島ビル203号

### 技術サポート

■TEL

0800-111-234-1 (フリーダイヤル)

■FAX

(043)274-4818

■ADDRESS

〒261-0025

千葉市美浜区浜田2-37

取扱説明書の内容は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

# spirax sarco

*First for Steam Solutions*

EXPERTISE | SOLUTIONS | SUSTAINABILITY

spirax  
sarco